

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	資源ごみ処理施設管理費

所管課	環境衛生課
事業名	資源ごみ処理施設管理費
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	18,885	18,940		18,297			18,297	▲ 588
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	10,461	11,247	11,247			11,247	786
一般財源	8,424	7,693		7,050			7,050	▲ 1,374

事業概要	リサイクルセンターの運転・維持管理を行うとともに、搬入及び収集された不燃ごみ、資源ごみビン・缶等から、資源化物を選別し資源化率向上を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	不燃ごみとして排出されるごみには、約30%の資源化物が含まれており、鉄、アルミ、プラスチック系と多種多彩なものが排出されることから、これを一括して機械により破砕し選別処理を行い資源化を行う。		
現状と背景	当市以外では広域で処理されている。不燃残渣量が多いことから、広域負担金の増加の要因になっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	資源ごみ処理施設管理費

所管課	環境衛生課
事業名	資源ごみ処理施設整備事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,782	26,001		24,394		▲ 11,761	12,633	6,851
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	4,407		24,394		▲ 11,761	12,633	8,226
一般財源	1,375	26,001						▲ 1,375

事業概要	リサイクルセンターは、平成7年7月から稼動し、17年が経過し、設備等に経年磨耗が生じていることや設置している機器も老朽化していることから、これを修理及び更新し施設の延命化を講じる。	今年度見直し事項	
事業目的	リサイクルセンターは稼動して、17年が経過することから機器が突発的な故障等で処理が停滞することを防止し、効率的な管理運営を行う。		
現状と背景	リサイクルセンターをこのまま直営での運転を続けるのか。将来的な方針について検討する必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	資源ごみ処理施設管理費

所管課	環境衛生課
事業名	障がい者就労支援事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	6,182	6,185		6,185			6,185	3
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	6,182	6,185		6,185			6,185

事業概要	障がい者の就労の場として、リサイクルセンター内に搬入された、資源化物系ごみの分別等の作業を障害者就労継続支援A型事業所に委託する。	今年度見直し事項	
事業目的	一般社会における障がい者の生活の自立と地域での共生を目的として、就労機会を提供するとともに、障がい者と雇用契約を結ばれている事業所への側面的な支援を目標とする。		
現状と背景	国の「障害者自立支援法」並びに「障害者雇用促進法」が改正され、障がいのある方の就労支援が抜本的に強化された。しかし、民間での障がい者雇用の環境は、経済的な不況の中、難しい状況にある。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	資源ごみ処理施設管理費

所管課	環境衛生課
事業名	作業用車両更新事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	7,329	6,263		1,006			1,006	▲ 6,323
財源内訳	国							
	県							
	市債	5,400						▲ 5,400
	その他							
一般財源	1,929	6,263		1,006			1,006	▲ 923

事業概要	リサイクルセンターのフォークリフト及び公用車の更新をおこなう。	今年度見直し事項	
事業目的	フォークリフトはリサイクルセンター開設当初からのものであり、故障の頻度が増加している。		
現状と背景	リサイクルセンターで残渣の運搬、カレットの搬出等に使用されている。作業中に故障した場合、重大事故につながる恐れがある。又故障した場合には、残渣、カレット等の移動ができなくなるため、受け入れ停止にもなりかねない。	その他	